



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2019年2月 No.441
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『吾只足知』 国際会長 : 『私たちは変えられる』 アジア地域会長 : 『アクション!』 西日本区理事 : 『未来に残すべきものを守り育てる』 中西部部長 : 『次代につなぐ夢と希望』	会 長 : 三浦 直之 副会長 : 中村 茂高 書 記 : 大村 肇 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 山中 ちあき YMCA 連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of February

あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。

(ヨハネによる福音書 13 章 34-35 節)

雑 感

中村 隆幸

私は、今年の3月でワイズメンになって45年になります。1974年3月に、土佐堀ワイズメンズクラブに入会しました。その時は、国際的な団体であるワイズメンズクラブに入り、海外の大会へ参加し、いろいろな人たちと友達になろうという単純な気持ちでした。そして、同年の7月にワシントンで国際大会に参加しました。3日間のディナーでは、同じ国の人が固まらないように、席がばらばらになっていました。片言の英語で会話をし、多くの外国の人と友達になりました。その後10数名の人と文通(クリスマスカード)で、連絡を取り合っていました。お亡くなりになった方もおられ、最近では数名のワイズメンの方としかやり取りがありません。最近、自分の終活のために、今まで保存してきたすべてのクリスマスカードを、シュレッターにかけながら、10回近く海外の国際大会に参加した時の、なつかしい交わりを思い出しています。今は、ミャンマーで日本語のボランティア講師として、若い人たちと交流しワイズメンになったときの気持ちを、少しでも持ち続けていきたいと考えています。

February Club Meeting

『TOF/CS/FF』

2月第1例会

日 時: 2019年2月20日(水) 18:30~20:30

場 所: 大阪YMCA会館403号室

司 会: 山中 秀男 君

1. 開会 三浦 直之 会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 船戸 輝久 君
4. ゲスト・ビジター紹介 三浦 直之 会長
5. 強調月間 坂本 千春 君
6. 健康体操 並木聡子・大阪南 YMCA 職員
7. ティータイム 一同
8. 卓話「大阪YMCAの飛躍を目指して!!!」
小川健一郎・大阪YMCA 総主事
8. 連絡・報告・ニュース 各メンバーから
9. お誕生祝い/ニコニコ献金 一同
10. 閉会 三浦 直之 会長

※2月例会のティータイムでは、和菓子と飲み物が出ます。

※会費500円。その他CS目標額は当選シート12シートが現金1,500円

お誕生日: 1月=中村幸枝メネット、三浦メン、中村茂メン、中井祥子メネット
 2月=石津メン

例会担当: 1班: 大村、角地、芝田、船戸、山田、山中の各メン

2月第2例会

日時: 2019年2月27日(水) 18:30~20:30

場所: 土佐堀YMCA会館4階

【クラブ統計 Statistics】

1月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	12名	6名	1月	0円
例会出席 12名	メネット	2名	0名	現 金	0円
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名	累 計	
出席率 66.6%	ゲ ス ト	0名	0名	切 手	204g
	合 計	14名	6名	現 金	0円
					累 計: 175,935円
					オ-ｸｼﾞ: 35,100円

【今月の聖句】

イエスは、律法を完成させる奥義として、互いに愛し合うことを説かれました。ギリシャ語の「アガパオ」、つまり神の愛（アガペー）で愛せよとされています。性愛や友愛のような好き嫌いの感情ではなく、イエスがわたしにくださったように、相手の罪を許し、受け入れること。人には困難に見えるこの業が、それを実践されたイエスを仰ぐことで道が開かれることを示されています。生活のただ中で、社会の葛藤の中で、世界の覇権争いの中で、そこに立つわたしたち一人ひとりがイエスを仰ぎ見ることを求められています。

(聖句選/コメント 船戸 輝久)

1 月例会 (中西部合同新年会)

と き：2019年1月19日(土) 12:00~15:00

ところ：大阪 YMCA 会館 2 階ホール

今回はセンテニアルがホストクラブということで企画、打合せ、スケジュールの調整・作成、事前準備、当日の各役割等メンバーが力を合わせ、大村肇実行委員長を中心としてクラブ全員で開催した新年会でした。特に気がかりだった参加人数ですが、出演者を含め約 80 名が中西部を中心にワイズメン、メネットのご参加頂き、盛会であったこと良かったと思います=写真(右下)。

また、当日は会を通して司会の任に当たった中村茂高メン、花本茜メン、スムーズな進行をしてもらい大役ありがとうございました。

第1部の開会式典では、まず谷正一・中西部部長の挨拶、谷川寛メンによる聖書朗読、末岡祥弘・学校法人大阪 YMCA 理事長、遠藤通寛・西日本区理事に来賓の挨拶をいただきました。末岡様には小川 YMCA 総主事の代役ということで、突然の指名で誠に有難うございました。

続いて第2部では、ピアノとフルートの新春らしい爽やかな演奏を楽しみました。ピアノの樋口友佳子さま、フルートの高橋香名さま、そしてわれらがソプラノの中井祥子さまが素晴らしい演奏と歌を披露していただきました。フルートの高橋さんのオリジナル曲の演奏大変印象深く素晴らしかったです=写真(左下)。

次に第3部懇親会になり食前感謝、乾杯、食事・歓談と進みました。今期の新入会員紹介ということで当クラブの花本茜さんが壇上で紹介されました。今後のワイズでの活躍を期待していますよ。

最後に全員で YMCA の歌を歌い、谷部長の閉会点鐘でつつがなくプログラムが終了いたしました。

後日、会計報告がなされ約 3 万円の黒字であったこと、懐にも優しく何よりでした。センテニアルからの参加者は 14 名でした。皆様大変ご苦労様でした。

(三浦 直之)

≡≡≡ Club Activities January 2019) ≡≡≡

The 22nd Midwest District New Year's Party was held at Osaka YMCA on January 19, 12:00am - 3:00pm. The party was hosted by the members of Centennial Y's Men's Club, led by hosting committee chairman, Mr. Omura. It was a successful party of eighty people.

The two MCs, Mr. Nakamura and Ms. Hanamoto conducted the programs throughout. The first part of the party was an opening ceremony which consists of greetings from the GD of Midwest district, Mr. Shoichi Tani, reading of the Bible by Mr. Kan Tanigawa and greetings from our guests: Mr. Yoshihiro Sueoka (chief director of Osaka YMCA educational institutions) and Mr. Michihiro Endo (RD of Japan West region)

In the second part, the participants enjoyed the blissful music of piano and flute. It was such a beautiful performance well harmonized among the three talented musicians, Ms. Yukako Higuchi (Pianist), Ms. Kana Takahashi (Flutist) and Ms. Shoko Nakai (Soprano), who is also our club member. The highlight of the performance was Ms. Takahashi's original song. The relaxing yet encouraging melody won applause from participants.

The program was followed by the third part, social gathering. We had a prayer of thanks before the meal and toast before we enjoyed our meal and each other's company. The whole program was closed with a bell by our DG, Mr. Tani. The number of participants from our club was 14.

BY AKANE HANAMOTO

From Jose Varghese in Geneva

A small contribution can make a big impact in the world. Y's Men International request all members and friends to skip a meal and contribute to the Time of Fast fund of Y's Men International during this month.

Facebook に掲載された、ワイズ国際本部の新しい国際書記の Jose Varghese 氏の今月の Time of Fast のメッセージです。西村さんと交代しました。



(谷川寛メン)



谷川 寛

久しぶりにマレーシアからの研修生の授業を担当しました。以前、アジア太平洋 YMCA 同盟の役員をしていた折、また、KL にある Universiti Teknologi Mara に招かれて「戦後の日本経済」の講義を担当したことなど、一時期、再三同国を訪問したことを思い出します。

当時は、マハティール首相の” Look East” 政策で、日本がもてはやされていた時代でした。最近そのマハティール氏が、93歳で再度首相に復帰しました。前政権が中国の「一帯一路」政策で大陸横断鉄道への借款に傾注していたのをマハティール氏は、見直しを宣言。

この中国の政策は相手の国が、結局、借金地獄となる事例が多発。あまり、評判よくありません。マハティール氏もそれを踏まえて、中断しました。

この国は1957年独立以来、多数派のマレー系住民を優遇するプミプトラ政策を採用。これが人種差別にあたるとして国連から批判されてきました。同国は国連の人種差別撤廃条約を批准していません。新首相は、多民族の融和政策を導入すると選挙公約していますが、難しい選択です。

今回の来日チームもすべてマレー系の人々で、行政職初級人材育成プログラム (Management Training Program for Junior Officer) の20名です。同国の行政職は彼らで占められています。中国系が商業の実験を握っていますが、お役人は限られており、一方、同国のYMCA、ワイズは中国系が大半です。マレー系の新首相が、民族融和を進めるには、憲法改正が必要であり、彼がどのように取り組むか注視しています。



マレーシアの研修生に囲まれて、谷川メン

1月第2例会報告

と き：1月23日(水) 18:30~20:00

ところ：大阪 YMCA 会館4F

出席者：石津、大村、芝田、中村茂、何、三浦

〈クラブ活動〉

- ・DBCの推進 熊本五福クラブと交流期間を設ける。
- ・ファミリーコンサートの準備 なかのしまクラブと共催
5/11(土) 10:30 開場、11:00 開演、13:00 終演。
大阪 YMCA 会館 2 階ホール。収益の一部を支援先の西淀川子どもセンターに寄付。

〈ワイズ活動〉

- ・2/9(土) 11:30 中西部メネットアワー交流会
大阪木材仲買会館 会費 1千円
出席：石津、大村、坂本千春メネット、芝田、中村幸枝メネット、中村茂、松浦和子メネット、山田、三浦

〈その他〉

- ・3/20 「SDGs と学校教育」濱上達也・朝日新聞大阪本社 CSR 担当：中村茂

YMCA ニュース

☆第310回早天祈祷会☆

日時…2月15日(金) 7:30~8:30

証し…間 祐三さん(元公益財団法人大阪 YMCA 評議員)

場所…大阪 YMCA 会館 10 階チャペル

☆「いじめのない世界を」YMCA ピンクシャツデー2018

今年も全国 YMCA と共にピンクシャツデー (PINK SHIRT DAY) を実施いたします。

2月27日(水) 当日はもちろん、2月をピンクシャツマンズとして YMCA 各拠点にて、ピンク色のアイテムを身に著けたり飾ったりすることでいじめ反対をアピールしますので、ご協力をお願いいたします。世界的な「いじめ」反対運動に連なり、地域社会や他団体・企業・行政とも協働して、広く、推進してまいります。

ピンクシャツデー…2月27日(水)

※取り組み期間…2019年2月1日~2月28日

☆2018年度中日本グローバル教育研修会☆

実施日時：2/16日(土) 13:00~17日(日) 15:30

場 所：六甲山 YMCA グローバルラーニングセンター

参加費：10,000円(1泊3食、六甲山 YMCA への送迎バス代を含む)

内 容：SDGs を学び、YMCA の活動が SDGs の達成を後押ししていく、その大きな役割を知る。

講 師：山本佳史(ソーシャルギルド代表)

神戸女学院大学・大阪産業大学等非常勤講師を経て、現在、大和ハウス CSR 担当

申込方法：所属 YMCA を通じて2月3日(月)までに

大阪 YMCA (担当：田尻)にお申込みください。

申込先：大阪 YMCA グローバル事業推進室 担当：田尻
TEL:06-6441-5088

E-mail: tajiri-tadakuni@osakaymca.org

※関心を持ちのワイズメンの参加も可能です。

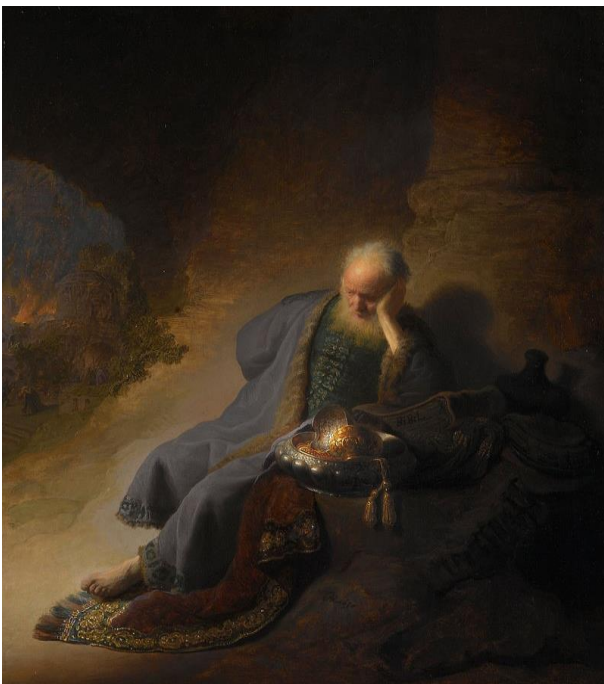
古代イスラエル事情

新年合同例会にての聖書朗読に引用させていただいた「エレミヤ記」に関してのお話です。このエレミヤ記というのは、旧約聖書を開くと出てきます。

旧約に描かれている古代のイスラエルの政治社会では、政治と宗教が一体化した政教一致体制でした。そこでは信教の自由は当然存在しませんでした。モーゼの時代から、70年のユダヤ人の Diaspora(離散)にいたるまで、モーゼの律法を中心とした政治が行われていました。この政教一致体制では、王さまが世俗的権力を持ち、神殿の管理をする大司祭が王と権力を一体化させる傾向がありました。これに対して“預言者”が存在し、権力を批判する宗教的権威を持つ二元的構造となっており、王は、預言者の言葉に耳を傾ける義務がありました。

エレミア(Jeremiah)とは、この預言者の一人でした。預言者は、神から直接召令をうけており、神の代理人として、神の言葉を権力者にも民にもへつらうことなく、まっすぐ伝える役目を担っていました。権力者や民を恐れず、批判し、悔い改めをせまるべき存在でした。従って、権力者に迫害される危険がありました。エレミヤは、神の審判である将来の“バビロンの捕囚”を予言しました。当時ユダヤ王国は、偶像崇拜、不義、政治的腐敗が蔓延しており、預言者は警告し、悔い改めを迫りました。やがて、ユダヤの民は、“バビロンの捕囚”という裁きをうけますが、エレミヤは、単に批判するばかりでなく、同胞のユダヤ人の救いのために神のメッセージを伝え続けました。そこには予言者としての使命がありました。やがて、エレミヤは70年後のユダヤ人のバビロンらの帰還を予言しました。

下の絵は、「エルサレム滅亡を嘆くエレミヤ」(1630年)と題するレンブラントの作品です。(アムステルダム国立美術館所蔵)



YMCA チャリティー・ボウリング大会開催

2月2日(土)17時から、梅田・桜橋ボウルでYMCAクリスマス献金 チャリティー・ボウリング大会が開催されました。1チーム4名で14チームが参加し、大いに盛況でした。

センテニアルは1チーム(大村、芝田、坂本メネット、三浦=写真)参加と、インターナショナルハイスクール1チームを支援いたしました。2ゲームトータルで競い、我がセンテニアルは905点となり、栄えある優勝を獲得しました。(昨年は2位)おめでとうございます。

終わってから、中西部メンバー14名でなかのしまクラブの鳥居翠さん紹介の近くの店で楽しく懇親をして帰りました。大変安くて美味しい店であったことを付記しておきます。(三浦直之)



後記

・中西部の一連の催しの最後となる、中西部合同新年会のホスト役を無事に終え、大村メンを中心に皆様お疲れ様でした。2部も迫力のある、すばらしい演奏でした。

・チャリティーボウリング大会の優勝はすごいですね。あいにく私は参加できませんでしたが、とにかくおめでとうございます。

・好視聴率のNHKの朝ドラ「まんぷく」。いずれ成功することはわかっているのですが、こんなに苦勞をして作ったのかとひたすら感心するばかり。先日、久しぶりに、なつかしくチキンラーメンを食べました。そのような人も中にはいるのでは・・・。

